

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	LA110	科目名	心理学概論(カウンセリングを含む)	担当者名	櫻本 和也
授業の概要	常日頃の行動や他者の振舞いをはじめ、自らの身近な事象を心理学の観点から捉えることで人間の心理・行動の理解を深める。また人間の「こころ」に関する諸理論を概観することで自他への理解を深め、対峙援助に関する専門性の形成を目指す。				
科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多岐にわたる知識に触れることで、心理学領域や枠組みについて具体例を交えて説明することができる。</li> <li>2. 学習した諸理論を基にして自分自身を捉え直し、自らの日常生活に活かすことができる。</li> <li>3. 自分自身への理解を深めると共に、他者や社会に対して「対人援助」の観点から心理学の知識を活用することができる。</li> </ol>				
DPの観点	⑥専門知識・技能(40), ⑦思考力(30), ⑨主体性(30)				
授業時間外学修(予習・復習)	予習: シラバス記載のテーマを確認し、授業で取り扱う内容を事前に検索して予習する(毎回, 2時間程度)。 復習: 人間に対する興味や関心を抱き、学習した理論等を日常生活に置き換えて内容を振り返る(毎回, 2時間程度)。				
フィードバックの方法	理解度調査と講義内容への質問・要望をコミュニケーションシートとしてロイロノートに提出。各回ごとに管理し、フィードバックと振り返りの実施に活用する。				
単位認定の要件	講義内での課題提出, および中間と期末のレポート課題で単位修得の基準を満たすこと。				
評価の方法・割合(%)	講義内のグループワークと課題(20%), 提出物(25%), 中間・期末レポート(55%)で総合的に評価する。				
履修上の注意事項	自分の考えや意見を共有する機会が多いため、積極的かつ自発的な姿勢で取り組まれることを望む。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			ガイダンス: 心理学概論とは・人生設計①	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
2			健康心理学: ライフスタイル・ストレスとの関連性	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
3			人格心理学: パーソナリティ領域について・交流分析	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
4			生理心理学: ストレスコーピング	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
5			産業心理学: メンタルヘルスケアと自律訓練法	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
6			中間課題	⑥, ⑦	レポート
7			臨床心理学①: 無意識領域とカウンセリング	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
8			教育心理学: 社会的スキル	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
9			臨床心理学②: 無意識領域と対人関係論	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
10			学校心理学: いじめ・不登校	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
11			発達心理学: アイデンティティ	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
12			社会心理学: 対人認知	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
13			キャリア心理学: 人生脚本・人生設計②	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
14			心理学概論のまとめと期末課題	⑥, ⑦	レポート
15			心理学概論のまとめ“いまなぜ「心理学」を学ぶのか”	⑥, ⑦, ⑨	コミュニケーションシート
期末試験			中間と期末のレポート課題を実施する		

使用テキスト	資料・レジュメを配布する。
参考文献 参考URL	川瀬正裕・松本真理子・丹治光浩(2019)これからの生きる心理学「出会い」と「かかわり」のワークブック ナカニシヤ出版
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--